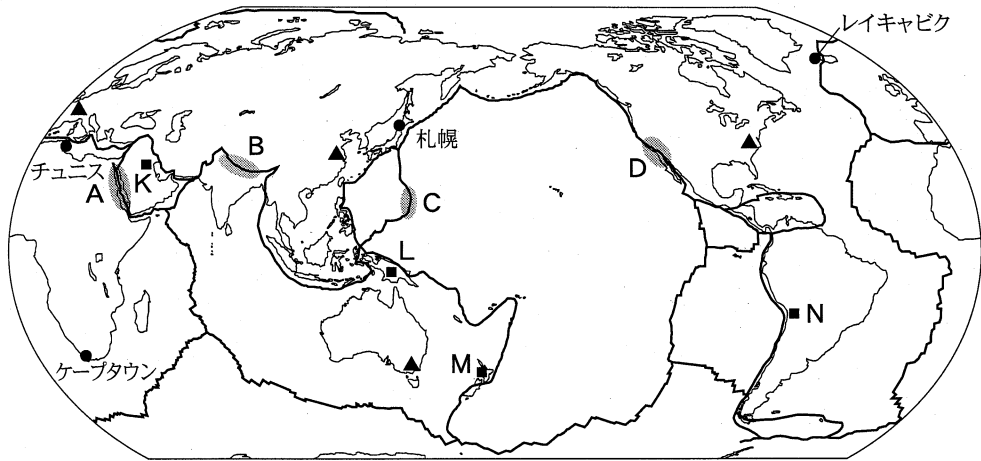


地 理 B

(解答番号 ~)

第1問 次の図1を見て、世界の自然環境と自然災害に関する下の問い(問1~6)に答えよ。(配点 16)



United States Geological Survey の資料などにより作成。

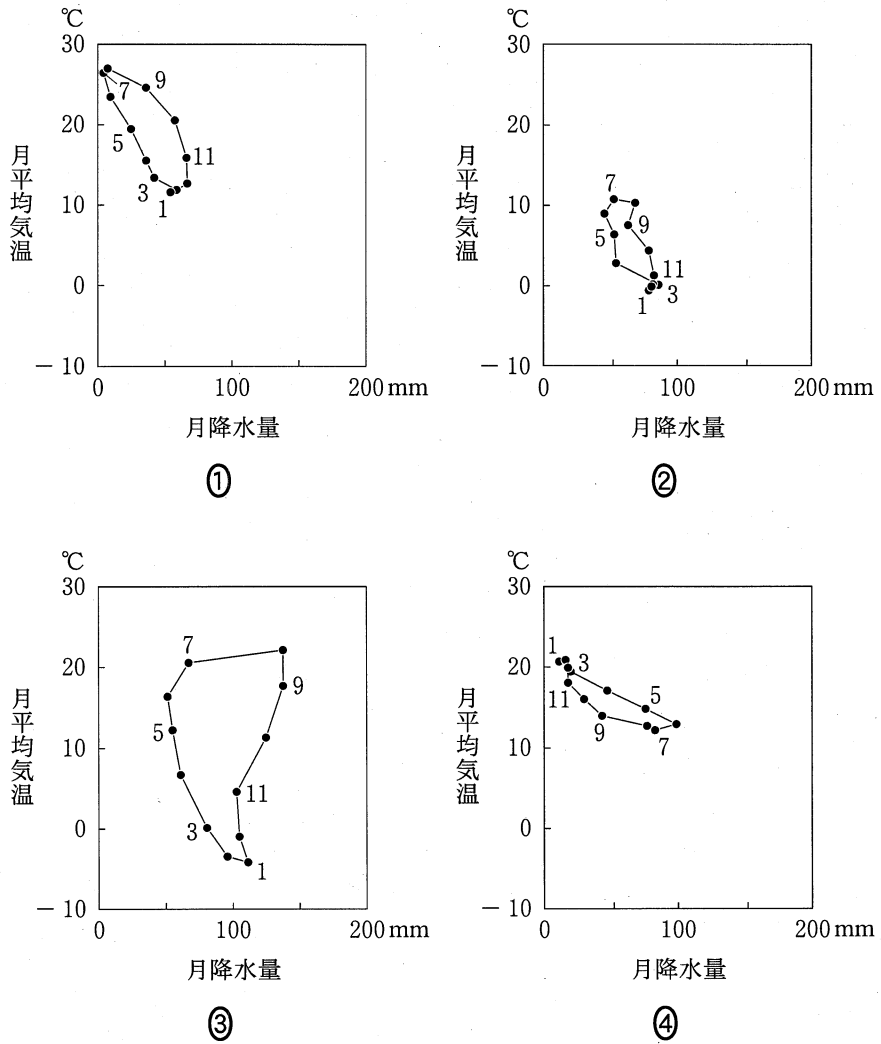
図 1

問1 図1中の太線は、主なプレート境界の位置を表している。図1中のA~Dの地域・海域を説明した文として適当でないものを、次の①~④のうちから一つ選べ。

- ① A海域は、広がるプレート境界にあり、アフリカ東部の地溝帯の一部が沈水したものである。
- ② B地域は、せばまるプレート境界にあり、プレートどうしが衝突し、大山脈が形成されている。
- ③ C海域は、広がるプレート境界にあり、地球内部からマグマが上昇して、かきれい海嶺が形成されている。
- ④ D地域は、ずれるプレート境界にあり、両プレートが水平方向にずれる断層が形成されている。

問2 次の図2中の①～④は、図1中のケープタウン、札幌、チュニス、レイキャビクのいずれかの都市の月平均気温と月降水量をハイサーグラフで示したものである。レイキャビクに該当するものを、図2中の①～④のうちから一つ選べ。

2



『理科年表』により作成。

図 2

地理B

問 3 次の写真1は、標高 3000 m を超える地点にある世界最大の塩原^{えんげん}を撮影したものである。この塩原には、純度の高い塩化ナトリウムを主とする塩類が厚く堆積^{たいせき}し、面積は約 8000 km²*にも及ぶ。この成因には、プレートの動きにもなって土地が隆起したこと、そして厳しい乾燥気候により塩湖が干上がったことが関係している。この塩原の位置は、図1中のK～Nのいずれかである。塩原の位置として正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 3

*NASA(アメリカ航空宇宙局)の資料による。



写真 1

- ① K ② L ③ M ④ N

問 4 土壌は、気候や植生、岩石・堆積物、地形などの影響を受けて生成され、このうち気候および植生による影響を強く受けた土壌を成帯土壌とよぶ。図1中に▲で示した4地点に共通する成帯土壌の特徴を説明した文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 4

- ① 鉄やアルミニウムの酸化物が集積した赤色の土壌。
- ② 表層に腐植層をもち、中性からやや酸性を示す褐色の土壌。
- ③ 貧弱な植生のため、腐植層の発達が悪い土壌。
- ④ 有機物の分解が遅く、水の移動による溶脱がすすんだ灰白色の土壌。

地理B

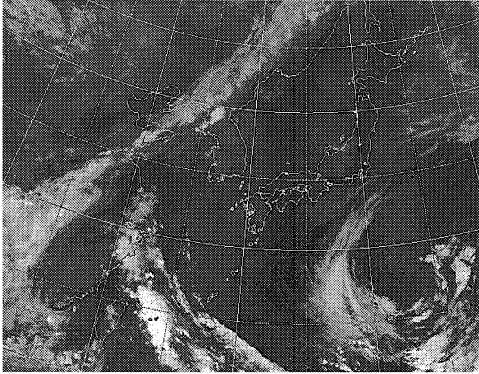
問 5 近年、通常とは異なる気象や天候異変が現れており、人々の生活や産業に大きな影響を与えてきた。世界各地で発生した天候異変について述べた次の文 a と b の下線部の正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 5

- a 1991年にフィリピンのピナトゥボ火山が噴火した時には、大量の火山灰が放出されて大気中をただよい、北半球で平均気温の上昇が観測された。
- b 1997年から1998年にかけてエルニーニョ現象が発生した時には、アメリカ合衆国の西部では多雨、東南アジアでは高温・少雨の傾向がみられた。

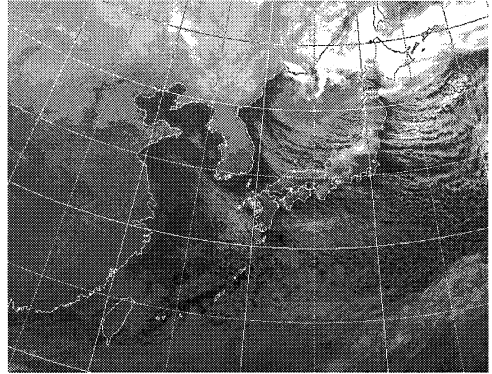
	①	②	③	④
a	正	正	誤	誤
b	正	誤	正	誤

地理B

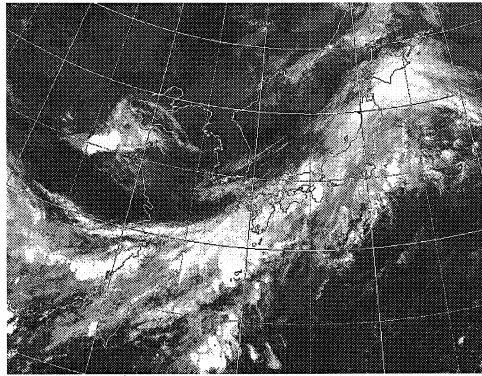
問 6 次の写真 2 中の P～R は、日本列島とその周辺部を撮影した気象衛星画像であり、下のア～ウのいずれかの自然災害が発生することが懸念される。P～R とア～ウとの正しい組合せを、下の①～⑥の中から一つ選べ。 6



P



Q



R

写真 2

- ア 寒波による大雪の被害。
- イ 高気圧による高温や干ばつの被害。
- ウ 前線による集中豪雨の被害。

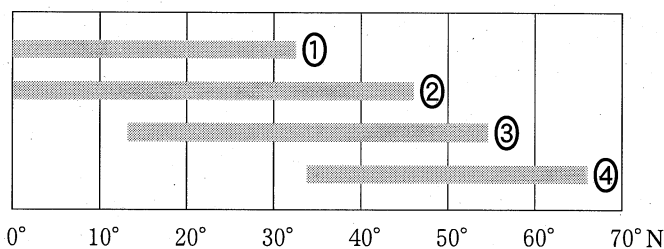
	①	②	③	④	⑤	⑥
P	ア	ア	イ	イ	ウ	ウ
Q	イ	ウ	ア	ウ	ア	イ
R	ウ	イ	ウ	ア	イ	ア

地理B

第2問 世界の農牧業に関する次の問い(問1～6)に答えよ。(配点 18)

問1 農業は、気温や降水量などの自然条件に強い制約を受ける。次の図1は、いくつかの作物について北半球におけるおおまかな栽培可能な緯度帯*を示したものであり、①～④は、大豆、バナナ、綿花、ライ麦のいずれかの作物である。大豆に該当するものを、図1中の①～④のうちから一つ選べ。 7

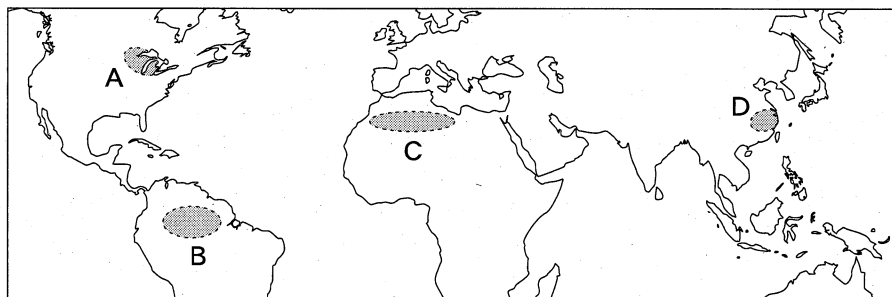
*高度の影響は考慮しない。



グリッグ『農業地理学』などにより作成。

図 1

問2 世界の農牧業は、地域の自然環境を反映した多様な形態を示す。次の図2中のA～Dのいずれかの地域でみられる主要な農牧業について説明した文として適当でないものを、次ページの①～④のうちから一つ選べ。 8



Goode's World Atlas などにより作成。

図 2

- ① A地域では、冷涼な気候のもとで酪農が広くみられる。
- ② B地域では、豊富な河川の水を利用した粗放的な稲作が広くみられる。
- ③ C地域では、乾燥に強いラクダなどを中心とした遊牧が広くみられる。
- ④ D地域では、温暖湿潤な気候のもとで米麦の二毛作が広くみられる。

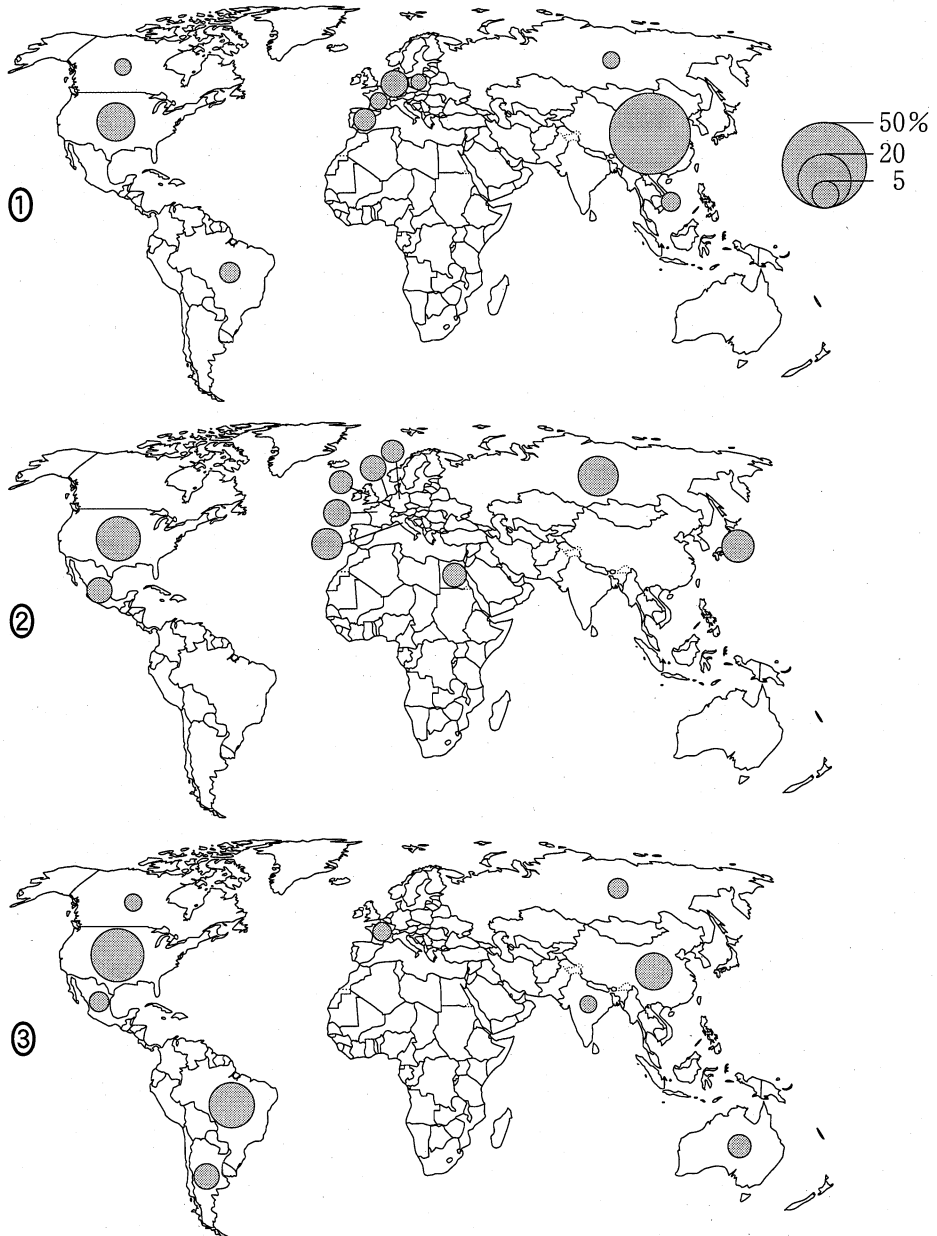
問 3 農業は、自然環境の影響を受けるが、その一方で、人間は水不足などの不利な条件を克服し、作物の栽培地域を広げてきた。ただし、こうした農業活動は、環境に負荷も与えている。世界の灌漑農業^{かんがい}について述べた文として下線部が適当でないものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 9

- ① アメリカ合衆国のグレートプレーンズでは、センターピボット灌漑によるトウモロコシや小麦の栽培が行われてきたが、これによって地下水位が低下している。
- ② イランの乾燥地域では、カナートとよばれる地下水路を利用して麦類やナツメヤシの栽培が行われてきたが、近年では、動力揚水機が普及し、土壌の塩性化(塩類化)が生じている。
- ③ オーストラリアのマリー(マーレー)・ダーリング川流域では、灌漑によって小麦の栽培が盛んになったが、一方で、土壌の塩性化(塩類化)が問題となっている。
- ④ 中央アジアのアムダリア川とシルダリア川流域では、灌漑によってサトウキビの栽培が盛んになったが、一方で、アラル海に流入する水量が極端に減少している。

地理B

問 4 農牧業は、自然条件のみではなく、文化的・経済的条件からも影響を受ける。次の図3中の①～④は、牛肉生産量、牛肉輸入量、豚肉生産量、豚肉輸入量のいずれかについて、上位10か国とそれらが世界に占める割合を示したものである。豚肉生産量の割合に該当するものを、図3中の①～④のうちから一つ選べ。

10

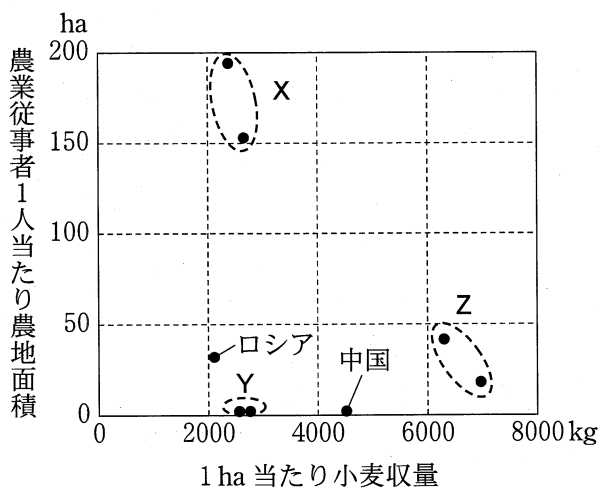




統計年次は、生産量が2008年、輸入量が2007年。
FAOの資料により作成。

図 3

問 5 世界の農業は、経営規模、生産性などにおいて、地域の特徴がみられる。次の図4は、小麦の生産量上位8か国についての、農業従事者1人当たり農地面積と1ha当たり小麦収量を示したものであり、図4中のX～Zは、北アメリカ、西ヨーロッパ、南アジアの三つの地域のいずれかである。X～Zと地域名との正しい組合せを、次ページの①～⑥のうちから一つ選べ。 11



統計年次は、農業従事者1人当たり農地面積が2006年、1ha当たり小麦収量が2007年。
『世界国勢図会』により作成。

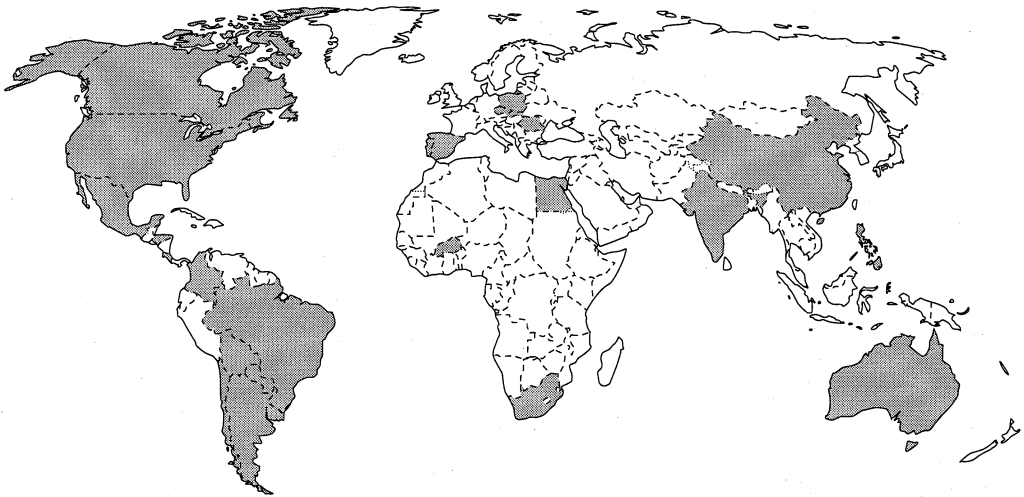
図 4

地理B

	①	②	③	④	⑤	⑥
北アメリカ	X	X	Y	Y	Z	Z
西ヨーロッパ	Y	Z	X	Z	X	Y
南アジア	Z	Y	Z	X	Y	X

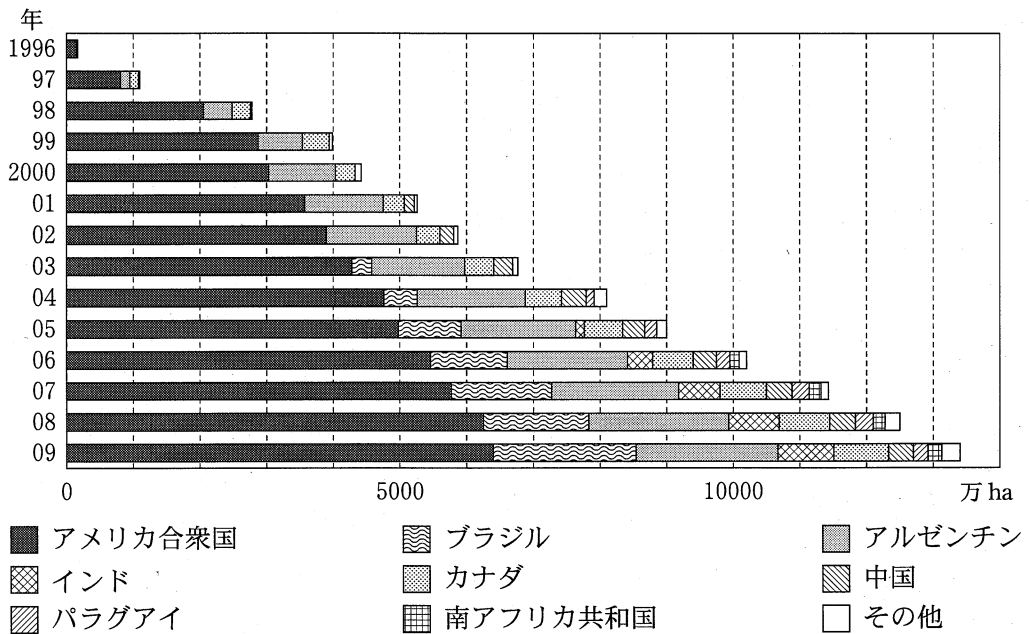
問 6 農業の生産性向上のための取組みの一つとして、遺伝子組み換え作物の導入がある。次の図 5 は、遺伝子組み換え作物を商業用に栽培している国*を示したものであり、次ページの図 6 は、その作付面積の推移を示したものである。図 5 と図 6 から読み取れることがらとその背景について述べた次ページの文章中の下線部①～④のうちから、**適当でないものを一つ選べ。** 12

*2009 年における栽培国。



ISAAA の資料により作成。

図 5



各年において作付面積が 100 万 ha 未満の国はその他に含めた。
 中国には台湾を含まない。
 バイテク情報普及会などの資料により作成。

図 6

遺伝子組み換え作物は、遺伝的性質の改変を行い、農薬や病気、害虫に対する耐性を高めた品種で、安定した供給が期待できることから、①アメリカ合衆国やカナダでは、アグリビジネス企業などによりいち早く導入された。このほか、アルゼンチンやブラジル、中国、インドといった②農産物の生産、あるいは輸出が多い国々で栽培されている。南北アメリカにおいては作付面積が増加傾向にある一方で、安全性などへの懸念から遺伝子組み換え作物の導入には慎重な国々もみられる。③EU(欧州連合)加盟国内でも遺伝子組み換え作物が栽培されているが、その作付面積は小さい。日本も慎重な立場をとる国の一つであり、④加工食品用の遺伝子組み換え作物の輸入を禁止している。

地理B

第3問 都市と村落，生活文化に関する次の問い(A・B)に答えよ。(配点 17)

A 都市と村落に関する次の問い(問1～3)に答えよ。

問1 次の表1は，いくつかの国について，人口規模の上位4都市における人口を示したものであり，首都を★で表している。表1中の①～④は，イタリア，オーストラリア，トルコ，メキシコのいずれかである。トルコに該当するものを，表1中の①～④のうちから一つ選べ。

13

表 1

(単位：万人)

順位	①	②	③	④
1位	★1820.5	1082.3	433.6	★262.7
2位	383.4	★395.3	380.6	130.6
3位	347.3	258.4	185.8	98.0
4位	188.8	159.7	155.5	90.1

統計年次は，イタリア，オーストラリア，トルコが2007年，メキシコが2006年。

『世界人口年鑑』により作成。

問 2 次の図1中のア～ウは、シカゴ、パリ、モスクワのいずれかの都市の中心部から郊外にかけての都市景観を模式的に示したものである。ア～ウと都市名との正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 14



ア 中心部には城壁で囲まれた政府機関を核として中・低層の建造物が広がる。郊外に向かって高層化していく住宅団地が特徴である。



イ 中心部には中心業務地区をなす高層ビルの集積がみられる。郊外には一戸建ての住宅地域が広がる。



ウ 中心部には土地利用や景観の観点から中・低層の歴史的建造物が保全されている。周辺部には高層ビルからなる副都心が形成されている。

Claval, *La Logique des Villes* などにより作成。

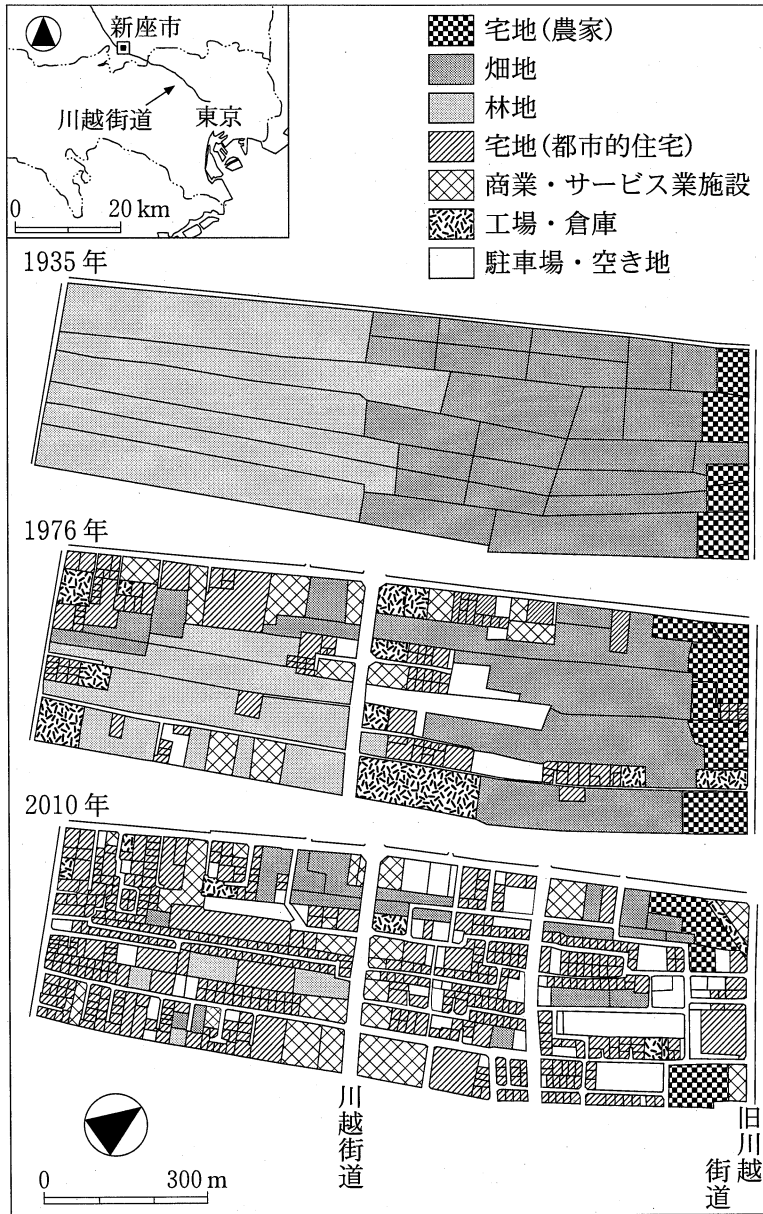
図 1

	ア	イ	ウ
①	シカゴ	パ リ	モスクワ
②	シカゴ	モスクワ	パ リ
③	パ リ	シカゴ	モスクワ
④	パ リ	モスクワ	シカゴ
⑤	モスクワ	シカゴ	パ リ
⑥	モスクワ	パ リ	シカゴ

地理 B

問 3 次の図 2 は、東京の郊外地域に位置する埼玉県新座市野火止地区^{にいぎのびとめ}における 1935 年、1976 年、2010 年の土地利用を示したものである。図 2 から読み取れることがらとその背景について述べた文として最も適当なものを、次ページの ①～④のうちから一つ選べ。

15



青鹿四郎『農業経済地理』などにより作成。

図 2

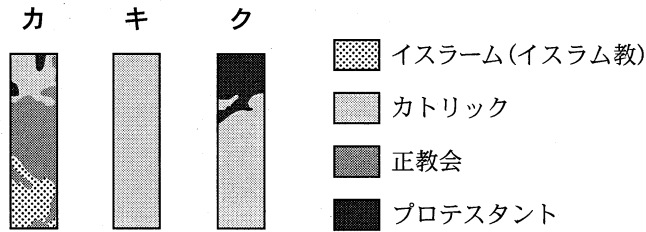
地理B

- ① 1935年の地図では、農家が不規則に密集しており、この集落の形態が自然発生的に成立した塊村^{かいそん}であることが読み取れる。
- ② 1976年の地図では、林地や畑地が無秩序に都市的住宅や工場・倉庫、商業・サービス業施設に変化しており、インナーシティ問題の顕在化が読み取れる。
- ③ 1935年と1976年の間で林地が縮小したのは、電気・ガスや化学肥料の普及による薪^{まき}と落ち葉の利用価値の低下に加え、都市化が進展したためである。
- ④ 1976年と2010年の間で工場・倉庫の多くが商業・サービス業施設へ変わったのは、工場・倉庫の立地が郊外から都心部へ回帰したためである。

地理B

B 生活文化に関する次の問い(問4～6)に答えよ。

問4 次の図3中のカ～クは、ヨーロッパにおける宗教の分布図から、異なる三つの範囲を切り取って示したものである。範囲カ～クの位置は、下の図4中のA～Cのいずれかである。A～Cとカ～クとの正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 16



Atlas du 21^e siècle により作成。

図 3

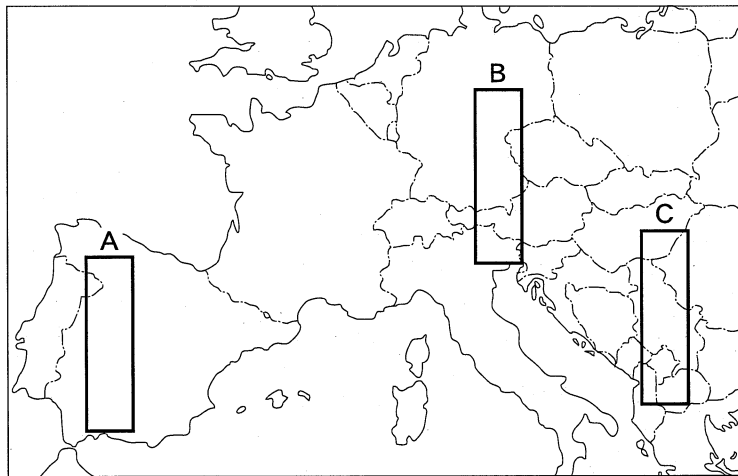


図 4

	①	②	③	④	⑤	⑥
A	カ	カ	キ	キ	ク	ク
B	キ	ク	カ	ク	カ	キ
C	ク	キ	ク	カ	キ	カ

問 5 UNESCO の世界文化遺産は、各国の生活文化や産業史の特徴をよく表している。次の①～④の文は、ウズベキスタン、スウェーデン、スリランカ、フィリピンのいずれかの国に存在する世界文化遺産について述べたものである。スリランカに該当するものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 17

- ① 国民の多くが信仰する仏教の寺院や仏像、植民地時代につくられたヨーロッパ風の街並みが、代表的な文化遺産である。
- ② 彩色タイルで飾られたモスクや神学校、市場や隊商宿といった交易にかかわる歴史的建造物が、代表的な文化遺産である。
- ③ 山間部の少数民族が耕作する棚田群、植民地時代の街並みや教会が、代表的な文化遺産である。
- ④ 中世の都市間同盟にもとづく交易都市の遺跡や、高品位の鉄鉱石を原料とした製鉄の産業遺産が、代表的な文化遺産である。

問 6 近年、食文化のグローバル化がすすんでいるが、食文化の受容は国によって状況が異なる。次の①～④の文は、イタリア、イラン、インド、カナダのいずれかについて、アメリカ合衆国を発祥とする世界最大のハンバーガー・チェーン店の進出状況を述べたものである。インドに該当するものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 18

- ① アメリカ合衆国との経済的結びつきが強く、このハンバーガー・チェーン店の店舗も多いが、地域・季節限定のロブスターを用いたメニューもある。
- ② アメリカ合衆国とは1970年代末から政治的な対立関係にあるため、このハンバーガー・チェーン店は進出していない。
- ③ この国発祥のピザの店舗との激しい競合下にあるものの、このハンバーガー・チェーン店も数多く進出している。
- ④ このハンバーガー・チェーン店は数多く進出しているものの、宗教的理由から牛肉・豚肉は用いられていない。

地理B

第4問 北アメリカに関する次の問い(問1～6)に答えよ。(配点 18)

問1 ヨーロッパ人が入植する以前の北アメリカ先住民の文化は、自然環境にもとづく生活様式の違いによって、いくつかに分類される。下の①～④の文は、次の図1中のA～Dのいずれかの地域で典型的にみられた自然環境と文化の特徴について述べたものである。Cに該当するものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

19



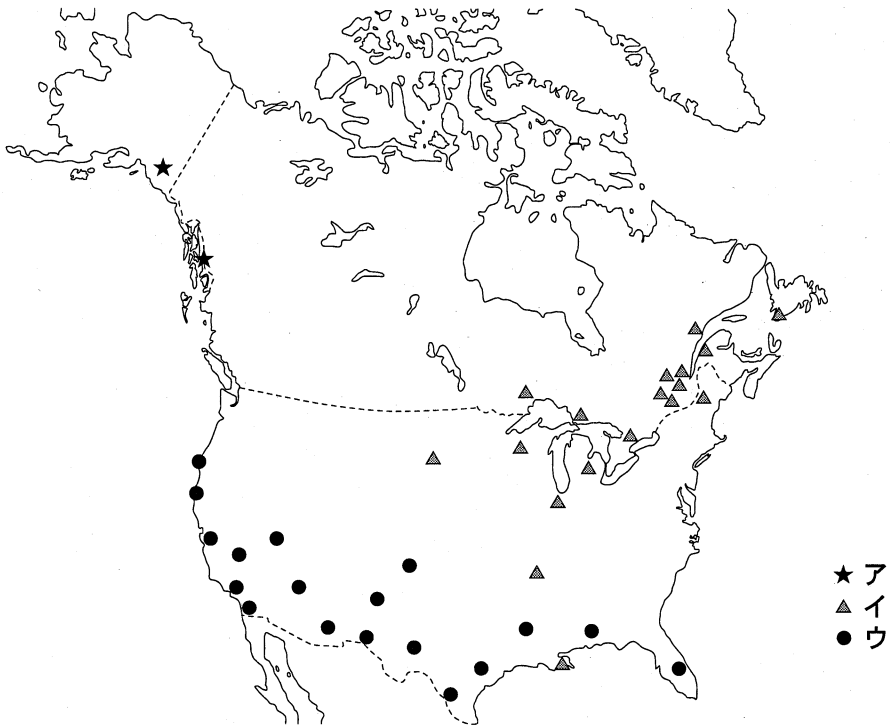
国立民族学博物館『自然のこえ 命のかたち』などにより作成。

図 1

- ① サケやニシンなどの漁労を生業の基盤として、木材で建てられた住居からなる定住集落を形成していた。
- ② 砂漠と岩山が広がる高原地帯において、日干しレンガや石などでつくられた住居に定住し、トムモロコシやカボチャなどを栽培していた。
- ③ 草原地帯において半地下式のたてあな竪穴住居に定住し、小規模な農耕と野生植物の採集を行いながら、野牛(バイソン)などを狩猟していた。
- ④ 丸太や枝葉などで小屋をつくって移動しながら、シカやクマなどを狩猟し、衣類用にビーバーやカワウソも捕獲していた。

地理B

問 2 北アメリカにおける地名の分布は、ヨーロッパ人の移住の歴史を反映している。次の図2は、スペイン語、フランス語、ロシア語に因んだ主な地名の分布を示したものであり、ア～ウはそのいずれかである。ア～ウと言語名との正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 20



井上謙治・藤井基精編『アメリカ地名辞典』などにより作成。

図 2

	①	②	③	④	⑤	⑥
スペイン語	ア	ア	イ	イ	ウ	ウ
フランス語	イ	ウ	ア	ウ	ア	イ
ロシア語	ウ	イ	ウ	ア	イ	ア

地理B

問 3 次の表1は、アメリカ合衆国のいくつかの人種・民族について、その社会経済的地位に関する現状を示したものであり、①～④は、アジア系、アフリカ系、ヨーロッパ系、ヒスパニックのいずれかである。ヨーロッパ系に該当するものを、表1中の①～④のうちから一つ選べ。 21

表 1

(単位：%)

	①	②	③	④
大学院修士号以上の取得者*	19.9	11.0	5.9	3.9
製造業の従事者**	7.5	6.1	7.5	10.4
農林水産業の従事者**	0.2	0.5	0.3	2.3

*各人種・民族における25歳以上人口に占める割合。

**各人種・民族における16歳以上民間被雇用者に占める割合。

統計年次は2005年。

『現代アメリカデータ総覧2008』により作成。

問 4 次の表2は、アメリカ合衆国とその近隣諸国および日本における、1人1日当たりの食料供給栄養量(熱量)の一部を示したものであり、①～④は、小麦、米、大豆油*、トウモロコシのいずれかである。小麦に該当するものを、表2中の①～④のうちから一つ選べ。 22

*サラダ油、マヨネーズ、マーガリンなどの原料となる。

表 2

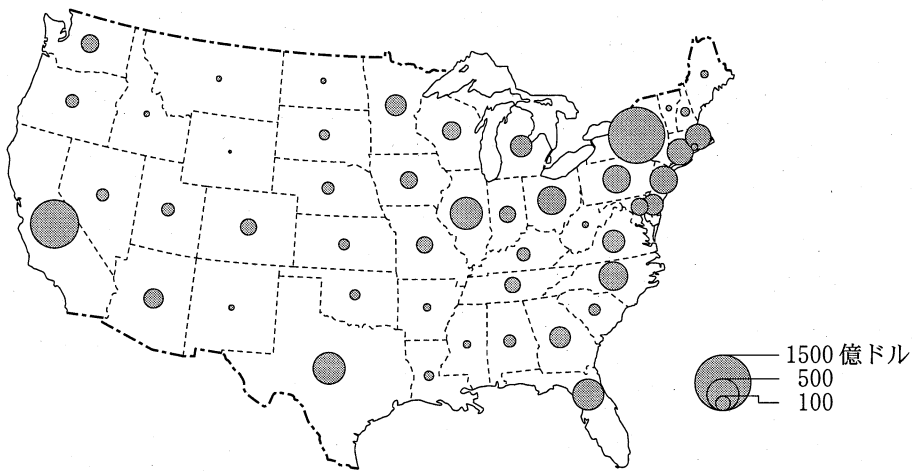
(単位：kcal)

	①	②	③	④
アメリカ合衆国	612	502	94	87
キューバ	368	156	306	635
日本	361	113	79	607
メキシコ	260	118	1,043	64

統計年次は2007年。

FAOの資料により作成。

問 5 金融・保険業の立地状況は、その地域の都市化や産業の状況を知る手がかりとなる。次の図 3 は、アメリカ合衆国(アラスカ州とハワイ州を除く)の各州における、金融・保険業の総生産額を示したものである。図 3 から読み取れることがらとその背景について述べた文として下線部が適当でないものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 23



統計年次は 2006 年。
『現代アメリカデータ総覧 2008』により作成。

図 3

- ① 五大湖南岸の中西部にある 500 億ドルを超える州には、大規模な製造業地帯や農産物取引市場がある都市が立地している。
- ② 西部に多くみられる 50 億ドル未満の州は、山地などの存在によって人口密度が国内諸州の中で最低位のグループに属する。
- ③ 南部に多くみられる 100 億ドル未満の州は、農業の総生産額が国内諸州の中で最低位のグループに属する。
- ④ 北東部にある 1,500 億ドルを超える州には、国際的な経済や文化の中心である世界都市が立地している。

地理B

問 6 次の表 3 は、アメリカ合衆国における 1987 年と 2009 年の相手国別輸入額について、それぞれ上位 8 か国を示したものであり、K～N は、イギリス、中国*、日本、メキシコのいずれかである。メキシコに該当するものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 24

*台湾、ホンコン、マカオを含まない。

表 3

(単位：百万ドル)

1987 年		2009 年	
K	88,072	N	296,402
カナダ	70,644	カナダ	224,911
西ドイツ	28,020	L	176,537
L	20,511	K	95,949
韓 国	17,991	ドイツ	71,253
M	17,827	M	47,486
イタリア	11,633	韓 国	39,235
フランス	11,177	フランス	34,034
総 額	422,407	総 額	1,557,876

『国際連合 貿易統計年鑑』などにより作成。

① K

② L

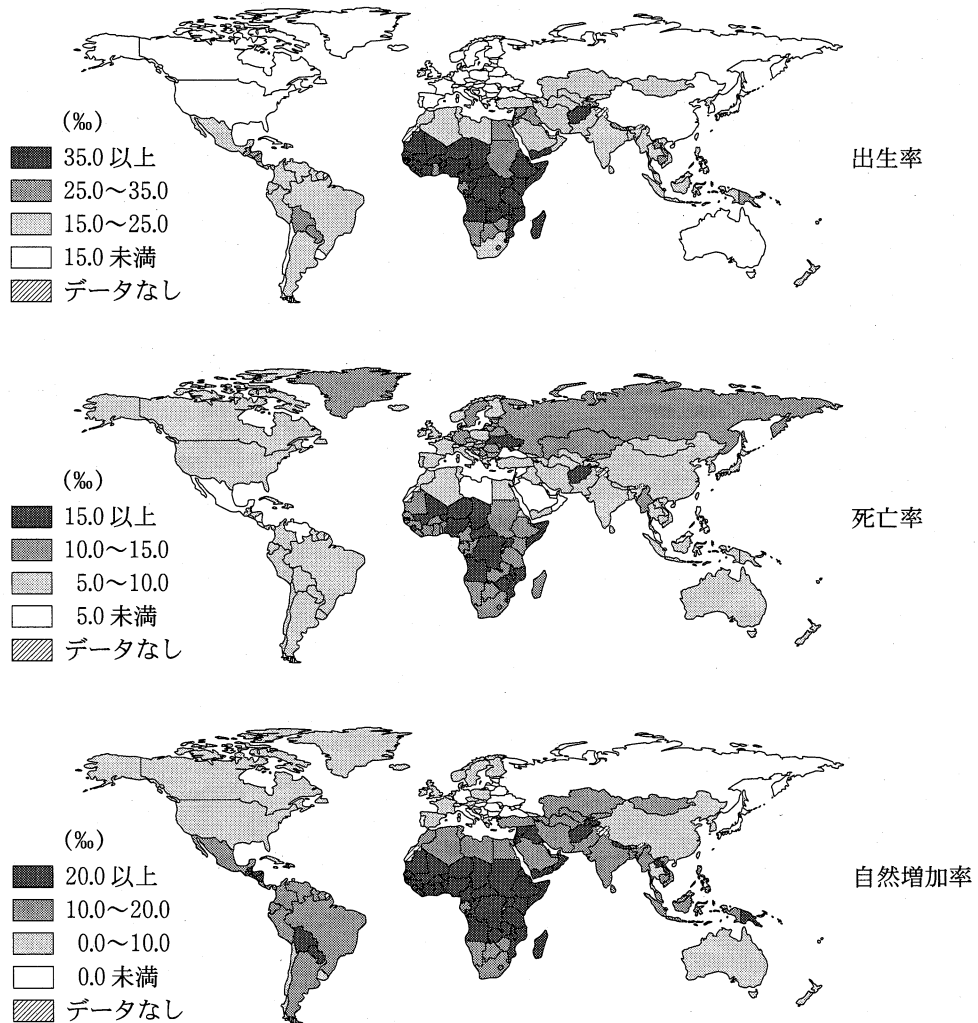
③ M

④ N

地理B

第5問 現代世界の諸課題に関する次の問い(問1～5)に答えよ。(配点 15)

問1 出生率・死亡率は国・地域ごとに異なり、その背景にある要因も多様である。次の図1は、世界の国・地域別の出生率、死亡率、人口の自然増加率をそれぞれ示したものである。図1から読み取れることがらやその背景について述べた文として適当でないものを、次ページの①～④のうちから一つ選べ。なお、階級は指標ごとに異なっている。 25



統計年次は2000年～2008年のいずれか。
『世界国勢図会』により作成。

図 1

- ① 北アメリカと中央・南アメリカの間には、出生率の違いがみられるものの、出生率が死亡率を上回っている点では共通している。
- ② 旧ソ連諸国や東ヨーロッパでは、社会主義体制下での一人っ子政策などの影響により少子高齢化がすすみ、人口が自然減少している国が多い。
- ③ サハラ以南アフリカでは、出生率は近年低下傾向にあるものの依然として高い国が多く、保健衛生などの問題により死亡率も高い。
- ④ 日本や西ヨーロッパの一部の国では、少子高齢化にともなって死亡率が出生率を上回っている。

問 2 世界人口の急増により懸念された食料問題の解決をめざして、20世紀半ば以降に推進された「緑の革命」について述べた次の文章中の下線部①～④のうちから、適当でないものを一つ選べ。 26

「緑の革命」は、①小麦、米などを主な対象として、品種改良による高収量品種の導入・普及や灌漑施設の整備などによって、②土地生産性を大幅に向上させるものである。こうした改良品種を取り入れたいくつかの国では、穀物自給率を上昇させることに成功し、貧困や飢餓の問題を改善することに貢献した。

一方で、改良品種の栽培は農薬や化学肥料の投下を前提としており、生態系、人体への悪影響に加え、③農業生産の化石燃料への依存を強めることになった。さらに、「緑の革命」は、④自給的農業を営む地域にかたよって普及したほか、政治的安定性などの条件によって成功した地域とそうでない地域が生じた。

地理 B

問 3 次の表 1 は、いくつかの地域について、穀物耕作面積、穀物生産量、穀物の単位面積当たり収量の 1965 年から 2005 年の増減*を示したものであり、ア～ウは、アフリカ、東南アジア、南アメリカのいずれかである。ア～ウと地域名との正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 27

*1965 年を 100 とした指数で示した。

表 1

	ア	イ	ウ
穀物耕作面積の増減	149	172	117
穀物生産量の増減	362	272	281
穀物の単位面積 当たり収量の増減	243	159	239

FAO の資料により作成。

	①	②	③	④	⑤	⑥
アフリカ	ア	ア	イ	イ	ウ	ウ
東南アジア	イ	ウ	ア	ウ	ア	イ
南アメリカ	ウ	イ	ウ	ア	イ	ア

- 問 4 世界のエネルギー供給の過半を占める化石燃料は、地域的に偏在することから資源をめぐる紛争の原因となったり、その利用に際しては環境に負の影響を与えることが懸念されている。次の図2中のA～Dの地域・海域で発生した資源・エネルギーをめぐる問題について述べた文として最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

28

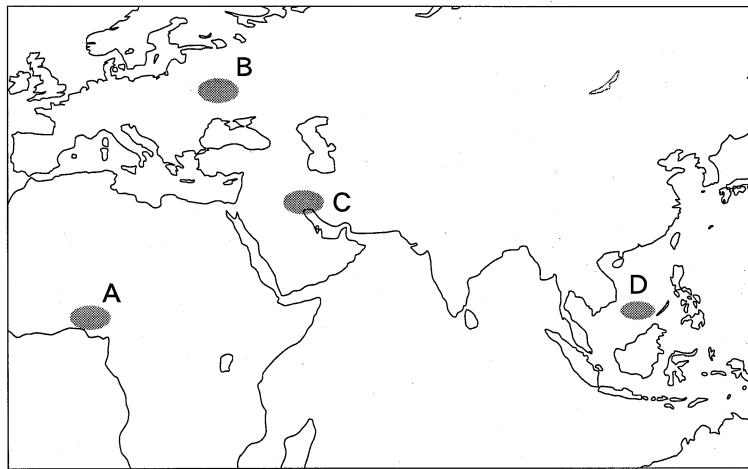


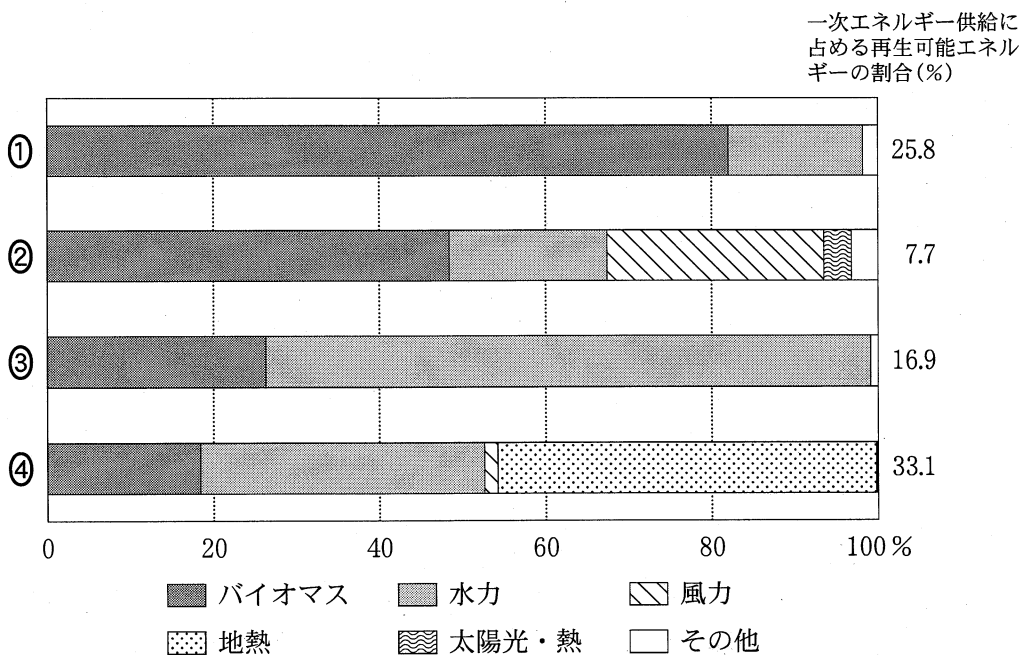
図 2

- ① Aの地域では、石炭の採掘権をめぐる分離独立運動が起こり、多数の餓死者や死傷者を出した。
- ② Bの地域では、ロシアとヨーロッパを結ぶ天然ガスの鉄道輸送網が整備されているが、関税設定をめぐる産出国と経由国との間で紛争が起きている。
- ③ Cの地域では、戦争により油田が破壊され、火災や周辺海域への重油の流出により、深刻な海洋汚染や大気汚染を引き起こした。
- ④ Dの海域では、石油の埋蔵が確認されたことなどを背景に、中国、フィリピン、インドネシアなど複数の国が群島の領有権をめぐる争っている。

地理 B

問 5 現代世界は主として化石燃料などの枯渇性エネルギーこかつに依存しているが、その負の側面から、再生可能エネルギー*が見直されている。次の図 3 は、いくつかの国について、再生可能エネルギーの内訳と一次エネルギー供給に占める再生可能エネルギーの割合を示したものであり、①～④は、カナダ、スペイン、ニュージーランド、フィンランドのいずれかである。スペインに該当するものを、図 3 中の①～④のうちから一つ選べ。 29

*水力や地熱、風力などの自然エネルギーのほか、バイオマスなどの可燃性再生可能エネルギーを含む。



1%未満はそれぞれの国の「その他」に含めた。

統計年次は 2008 年。

IEA, *Energy Balances of OECD Countries* により作成。

図 3

地理B

第6問 東海道新幹線の手窓から眺めた静岡県大井川の風景に興味をもっていたコハルさんは、夏休みを利用して、大井川流域において自然環境と人々の生活にかかわる地域調査を行うことにした。次の図1を見て、下の問い(問1～6)に答えよ。

(配点 16)

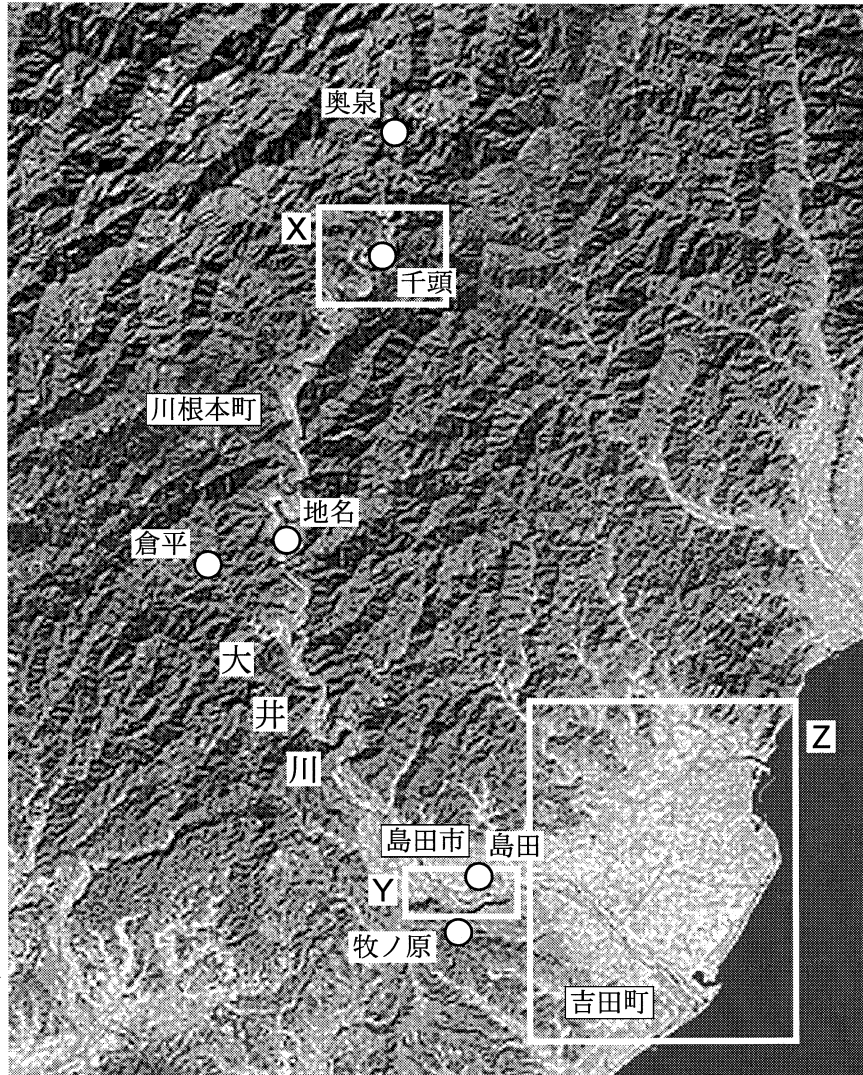
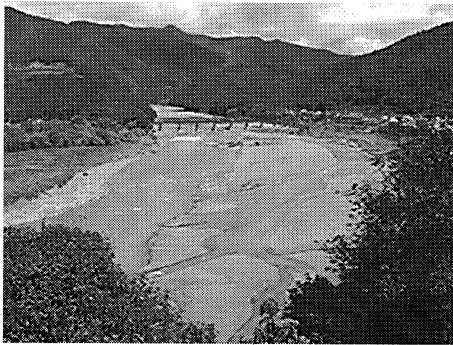


図 1

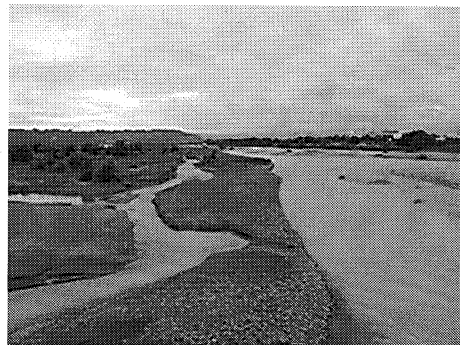
地理B

問 1 コハルさんは、お父さんと自動車に乗り大井川に沿って河口から上流方向へ向かった。次の写真1中のA～Cは、図1中の島田^{じな}、地名あたり(笹間渡)^{ささまど}、奥泉^{おくいずみ}のいずれかの地点において、大井川の特徴的な景観を写真に収めたものである。A～Cと地名との正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

30



A



B



C

写真 1

	①	②	③	④	⑤	⑥
島 田	A	A	B	B	C	C
地 名	B	C	A	C	A	B
奥 泉	C	B	C	A	B	A

地理B

問 2 コハルさんは、大井川鉄道に乗りかえ、蒸気機関車(SL)で千頭駅^{せんず}におり立ち周辺の地図を見た。次の図2は、図1中に示したXの範囲の5万分の1地形図(原寸、一部改変)である。図2から読み取れることがらを述べた文として下線部が適当でないものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 31

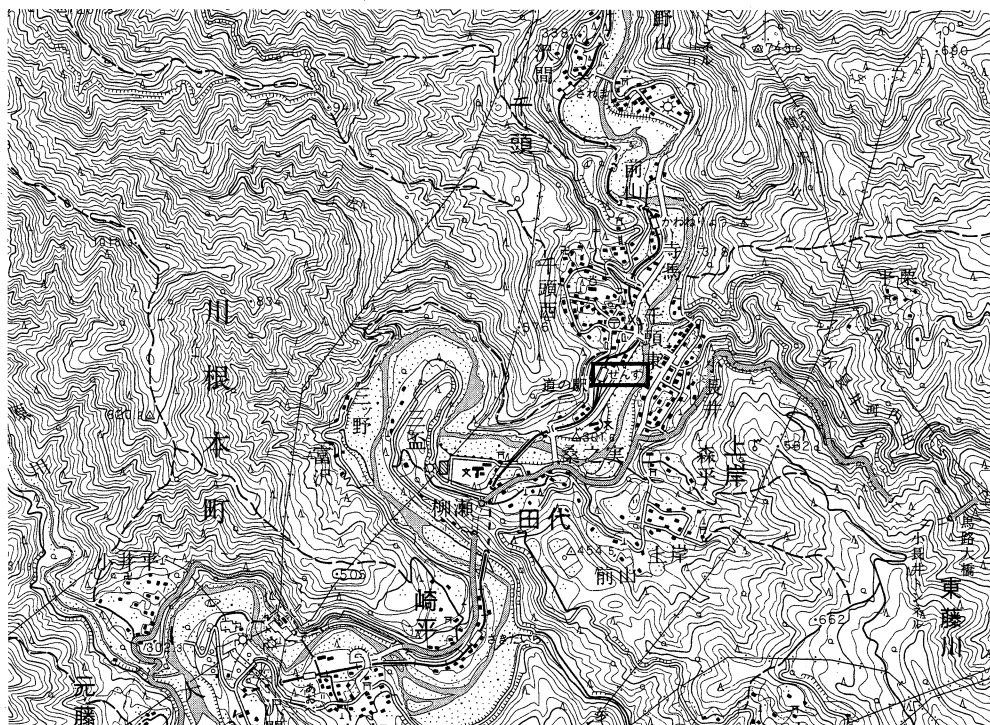
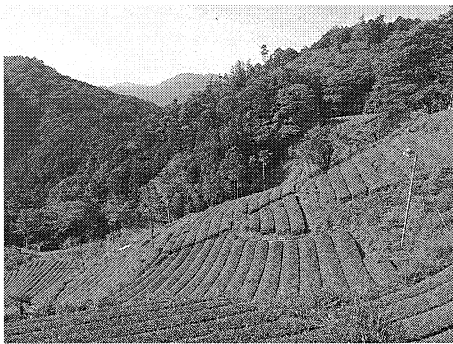


図 2

- ① 大井川鉄道井川線^{いかわ}(千頭駅より北側)の沢間駅の対岸には、新たに道路がつくられており、神社や発電所がみられる。
- ② 大井川鉄道の建設目的の一つには、大井川上流部の電力開発があり、大井川に沿って送電線が多くみられる。
- ③ 大井川鉄道本線(千頭駅より南側)は、蛇行する大井川と頻繁に交差し、トンネルや鉄道橋がみられる。
- ④ 千頭駅は大井川鉄道の重要な結節駅であり、その北側には交番や郵便局がみられる。

問 3 コハルさんは、茶を特産品とする大井川流域の農業に興味をもち、聞き取り調査を行った。次のアとイの文は、図1中の倉平くらだいらか牧ノ原のいずれかの地域の農業について述べたものであり、下の写真2中のPとQは、いずれかの地域の特徴的な茶畑を撮影したものである。倉平に該当する文と写真との正しい組合せを、下の①～④のうちから一つ選べ。 32

- ア 近世には焼畑と組み合わせた労働集約的な茶栽培が営まれ、近年は有機農法や無農薬農法に取り組んでいる。
- イ 明治時代には旧幕臣などの入植により茶園が開発され、現在も流域の茶栽培の中心地となっている。



P



Q

写真 2

①	②	③	④
ア	ア	イ	イ
P	Q	P	Q

地理 B

問 4 「箱根八里はこねはちりは馬でも越すが、越すに越されぬ大井川」と、島田と金谷かなやがかつて川越えの宿場町としてにぎわっていたことを知ったコハルさんは、地形や土地利用の変化について新旧の地形図を比較した。次ページの図 3 は、図 1 中に示した Y の範囲における、1895 年と 1997 年の 5 万分の 1 地形図(原寸、一部改変)である。図 3 から読み取れることがらを述べた文として適当でないものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 33

- ① 大井川を横断する鉄道橋の下流では、1895 年時点には大井川を渡るための道が何本かみられ、1997 年時点には蓬萊橋ほうらいばしがみられる。
- ② 金谷河原かなやかわらでは、1895 年時点には水田が広く分布していたが、1997 年時点には堤防が整備され、工場や鉄道が建設されている。
- ③ 島田駅周辺では、1895 年時点には駅北側の東海道沿いに集落がみられ、1997 年時点には駅南側にも市街地が展開している。
- ④ 島田の河原(川原町)と金谷河原との間では、1895 年時点には橋があり、1997 年時点には同じ架橋位置に大井川橋がみられる。

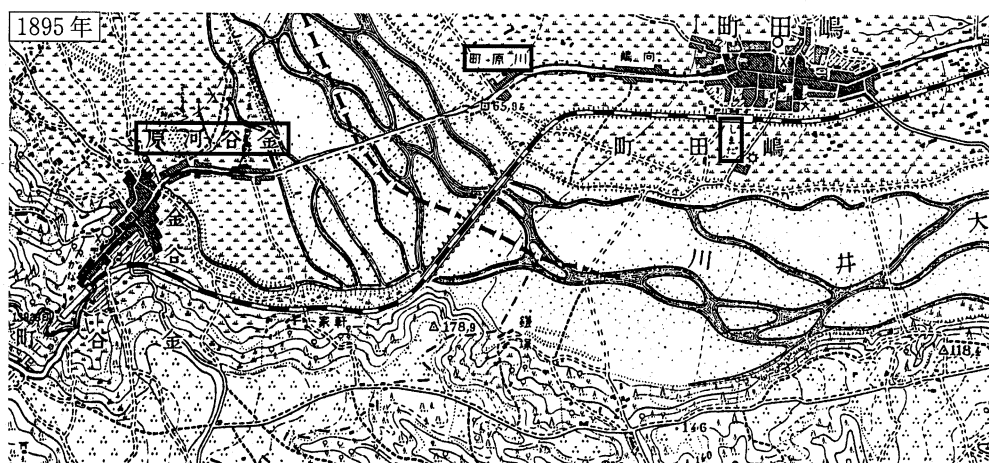


図 3

地理 B

問 5 コハルさんは、大井川流域の産業と人々の暮らしに興味をもち、図書館で統計書を調べた。次の表 1 は、図 1 に示した三つの市町における産業別従業者割合を示したものであり、カ～クは、川根本町*、島田市**、吉田町のいずれかである。カ～クと市町名との正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

34

*2005 年 9 月、旧中川根町、旧本川根町が合併。

**2005 年 5 月、旧島田市と旧金谷町が合併。2008 年 4 月、旧川根町が編入した。

表 1

(単位：%)

	第一次産業			第二次産業	第三次産業
	農業	林業	漁業		
カ	8.7	0.1	0.0	38.7	52.6
キ	16.8	1.2	0.0	33.8	48.2
ク	3.1	0.0	1.6	48.5	46.8

統計年次は 2005 年。

各市町の値は、合併前の旧市町の値を合算したものの。

『静岡農林水産統計年報』により作成。

	①	②	③	④	⑤	⑥
川根本町	カ	カ	キ	キ	ク	ク
島田市	キ	ク	カ	ク	カ	キ
吉田町	ク	キ	ク	カ	キ	カ

問 6 川と人々の暮らし方に興味をもったコハルさんは、大井川の下流域に「舟形屋敷」とよばれる特徴的な屋敷を見つけ、学校に戻ってからレポートを作成した。次ページの図 4 は、図 1 中に示した Z の範囲の 20 万分の 1 地勢図(原寸、一部改変)であり、写真 3 および図 5 の模式図は、図 4 中の地点 R に立地する舟形屋敷に関するものである。コハルさんと先生との会話文中の空欄サ、シに当てはまる語句の正しい組合せを、次ページの①～④のうちから一つ選べ。

35



図 4



写真 3

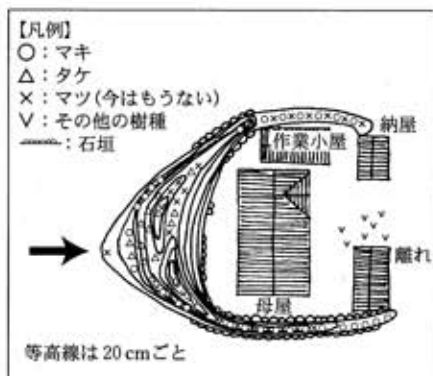


図 5

コハル 「舟形屋敷は、洪水時に浸水の被害から免れるために築かれたそうです」
 先生 「かつて大井川は、(サ)である扇状地を自由に流れていたそうですね」
 コハル 「昔は、周辺にも同様の舟形屋敷が数多くあったそうです」
 先生 「三角屋敷ともよばれる舟形屋敷を写した写真3中の右上の、舟形をした敷地の先端部分に写っている植物は何ですか」
 コハル 「舟形屋敷の模式図(図5)に示した通り、マキやタケが植えられています。敷地の先端部分は土が高く盛られ、根が強固に張り付く植物を植えて、護岸の役割を果たしていました。図5中の矢印は、(シ)方向から屋敷をおそった洪水の流れを示したものです」
 先生 「大井川の最下流部では、このような風土に根ざした暮らし方が継承されてきたのですね」

	①	②	③	④
サ	侵食地形	侵食地形	たいせき 堆積地形	堆積地形
シ	北西	南東	北西	南東

問題と解答は、独立行政法人 大学入試センターホームページより転載しています。
ただし、著作権上の都合により、一部の問題・画像を省略しています。

日本一の学校情報



<http://www.js88.com>

インターネット塾・予備校情報サイト



<http://jyuku.js88.com>